

上毛町教育委員会だより

上毛町中央公民館の取組

上毛町中央公民館では、町民一人ひとりに生涯にわたって学習する機会を提供するために、各種団体と連携し、生涯学習講座を開講しています。

生涯学習講座は、「誰もが・いつでも・どこでも楽しく学べる」という生涯学習の基本方針に基づき、皆さんがいきいきとした生活を送っていただくために、年間を通して様々な講座を企画しています。

健康ピラティス教室

3月20日(土)、げんきの杜において、室内の換気や手指消毒などの新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、健康ピラティス教室を開講し、14名の方が受講しました。

教室では、地域でボランティアとして活動する上毛町生涯学習サポーターの大石みゆきさんが講師となって、体のストレッチ、筋力強化、バランス強化などを目的としたエクササイズであるピラティスを行いました。

コロナ禍による自粛期間中、外出の機会の減少による運動不足を解消するとともに、自宅でできる運動を学ぶよい機会になりました。



上毛中学校女子卓球部 第6回九州中学選抜卓球大会 準優勝!!

4月17日(土)、熊本市で「第6回九州中学選抜卓球大会(団体戦)」が開催され、九州各地から45チームの強豪が集まる中、上毛中学校女子卓球部は、日頃の練習の成果を十分に発揮し、昨年の結果を上回る準優勝を果たしました。今後の活躍に期待が高まります。



友枝小学校・南吉富小学校 お茶摘み体験

4月下旬に友枝小学校・南吉富小学校の3年生が、地元のお茶生産農家さんのご協力によりお茶摘み体験をしました。

農家の方から摘み方などのお話を聞いた後、お茶畑の中で実際に茶葉を摘み取った子どもたちは「初めて見た、これがお茶になるんだ」「こんなに採れたよ。お家で家族にお茶を淹れてあげたい」と笑顔で話していました。

体験を通じてお茶について学び、上毛のお茶をより身近に感じられたようです。



The Japanese Kilt Maker

ALT(外国語指導助手)ロビン

Following on from my last article about Scottish fabrics and tartan, I recently read an interview about a Japanese girl called Hitomi Nomura, who moved to Scotland to learn how to make kilts. Since I found her life story to be an interesting one, I wanted to share it.

In the interview she said "I was working at an IT company in Tokyo before I came to Scotland. I was a perfectly normal Japanese lady that you would see around Tokyo." However, from watching foreign films and listening to foreign music at a young age, she was greatly interested in foreign cultures. Although being denied initially due to high demand, she was able to receive a UK visa under the Youth Mobility Scheme at the age of 30 and moved to Scotland. Under the Youth Mobility Scheme 1000 Japanese nationals are chosen through a lottery every year to receive a UK visa which allows them to live, work or study for up to 2 years.

It was the history behind tartan and kilts which drew her to these. She studied how to make traditional kilts under Scottish kilt-makers but decided to create her own design and make kilt-inspired skirts for women. Her dream, she said, is to "spread Scottish culture in Japan". It was very moving to read about someone who had such a deep interest in a part of my culture and want to share that with others. I also found her story inspiring because she decided to follow her dream, change career paths and move to a completely different country at the age of 30. I hope her story will inspire others and show that it's never too late to follow your dreams. You can find her shop by searching for "Hitomi Kiltmaker" online.

日本人のキルトメーカー

前回のスコットランドの布地とタータンの記事に続き、スコットランドに移住してキルトの作り方を学んだ「野村瞳さん」という日本人女性のインタビューを最近読み、彼女のライフストーリーが面白いと思ったので、共有したいと思いました。

彼女は、インタビューの中で、「スコットランドに来る前は、東京都のIT企業で働いていました。私は、東京周辺で見かけるような、ごく普通の日本人女性でした。」と語っていました。しかし、小さい頃から外国の映画を見たり、外国の音楽を聴いたりしており、外国の文化にとっても興味をもっていました。当初、ビザの取得の需要が高かったため、彼女の申請は拒否されましたが、30歳のときにイギリスのユースモビリティビザを取得してスコットランドに移住しました。ユースモビリティビザは、抽選で選ばれた日本国籍者1,000人が、イギリスのビザを取得し、最長で2年間の滞在、就労、就学が可能になるものです。

彼女を惹きつけたのは、タータンとキルトの歴史的背景でした。彼女はスコットランドのキルトメーカーの下で伝統的なキルトの作り方を勉強しましたが、自分自身のデザインを作り、女性のためにキルト風のスカートを作ることを決めました。彼女の夢は、「日本中にスコットランドの文化を広めること」だと言っていました。私の国の文化にとっても興味があり、また、そのことを広めたいという人について読んだことで、とても感動しました。また、野村さんが30歳になっても、夢を追い、職業を変え、全く別の国への移住を決めたという話も刺激的でした。彼女のストーリーが人々に刺激を与え、夢を追いかけるのに遅すぎることは無いということを示してくれることを願っています。オンラインで「Hitomi Kiltmaker」を検索すれば、彼女のお店を見つけることができます。

